

## 東北民放クラブ活動だより

### 新型コロナウイルス下の交流会

「青森県」

田沼 孝（RAB）

青森県の会員は少なくとも年に一度は顔を合わせるようにしています。

令和 2 年は暮れも押し詰まってから忘年会の形で開きました。

声掛けの目玉は「特上うな重」です。「川よし」は名代の老舗で、例年であれば満席のところ、コロナ禍のためか予約をお願いすると大いに歓迎されました。



青森交流会参加のみなさん

鰻の香に誘われて会員 7 名が 12 月 24 日の昼席に集まりました。

久しぶりの集まりなので話ははずみましたが、やはり現役時代の思い出話になります。

なにせ半世紀近く昔の話になると、当時の上司に苦勞した話でも、時代の波に洗われ枯れた話になります。

例えば、勝つまで止めない社長の麻雀のお相手をした際、どんな手を使ったかの話に思わず笑ってしまいました。

勿論「特上うな重」は結構なお味でした。食べて、笑って楽しい 2 時間を過ごしました。

令和 3 年の再会を約して散会しましたが、ことし（令和 3 年）の交流会は既に予定を決めております。夏までには、みなさんに案内状を出したいと考えております。

それまでには、新型コロナウィルスの収束を願い、みんなが元気に顔を合わせたいと思っております。

### コロナとゴルフ

伊藤 征雄（TBC）

コロナ禍のおかげでクラブの同好会のひとつが活動を休止する中ゴルフ同好会は「コロナに負けるな」と春の懇親会を開催しました。

時は、まん防中の 4 月 16 日。所

は仙台市の隣の富谷市の富谷 CC。幹事は何人が参加するか気になっていたが 14 人からの申し込み。コロナの影響で外出の自粛が求められているだけに、ゴルフは野外ということで参加された方も多かったのでは。

クラブハウスは手の消毒と検温。レストランにはアクリル板。風呂はクロージと対策は完璧。プレイヤーはマスク着用。中にはプレー中も外さない人も。



春の懇親ゴルフ会参加のみなさん

コロナに気遣いながらのゴルフでしたが、後半は風に悩まされはしたものの天気も良く十分楽しめました。

### 俳句同好会「うらら」

スイカ割り目隠して聞く波の音  
長閑なり路地のふれ売りいかう  
鳥賊

上崎 正（RAB）

厨より耳傾ける初音かな

コロナ禍や花愛でぬま葉櫻に  
沖本まゆみ（O X）

庭先の木蓮にとまる雀かな

遠方の友と呑む酒春うらら

丹野 稔（MMT）

アザレア咲く球聖の地で快拳成す

山並 秀昭（O X）

新しき大漁旗や夏あかつき

妹の気性ボンボンダリやかな

横山 萬平（TBC）